

2012 年度事業報告

公益財団法人阿蘇グリーンストック

一、各事業の概況

1 自然保全事業（公1）

【草原保全活動】

（1）野焼き・輪地切り支援活動

秋の輪地切り支援活動及び春の野焼き支援活動の実績は別添の通り。

安全講習会等の安全対策強化に取り組んできた成果として、輪地切り及び野焼き支援活動ではヒヤリハット事例がほとんどなくなりました。

また、輪地切り・野焼き支援箇所もそれぞれ 50 箇所を超え、ボランティアの参加者も 2,100 名（昨年 2,300 名）を維持できました。

①輪地切り支援活動 2012 年 9 月 2 日～2013 年 3 月 3 日

54 か所 延べ 1,105 人参加

②野焼き支援活動 2013 年 2 月 10 日～4 月 14 日

52 か所 延べ 998 人参加

（2）研修会の開催等

野焼き事故を受け休止していた野焼き・輪地切り支援活動の再開に向け、ボランティア活動の基本精神の再整理や安全管理委員会の設置、安全マニュアルの拡充、数回に亘る安全講習会、リーダー全体会、初心者研修会の実施などに取り組んできました。開催した主な会議・研修会は下記のとおりです。

① 野焼き支援ボランティアリーダー全体会の開催

第 1 回（H24. 7. 1） 参加者 50 名

臨 時（H24. 8. 4） 参加者 32 名

第 2 回（H24. 8. 25） 参加者 38 名

第 3 回（H24. 12. 15） 参加者 33 名

第 4 回（H25. 1. 19） 参加者 36 名

②野焼き支援ボランティア会員総会の開催

臨 時（H24. 7. 14） 参加者 115 名

③野焼き支援ボランティア初心者研修会の開催

第 1 回（H25. 2. 9、2. 10） 参加者 54 名

第 2 回（H25. 2. 16、2. 17） 参加者 60 名

(3) 安全対策の緊急強化

県と阿蘇市からの緊急支援（補助金）により、難燃性作業服やヘルメット、ホイッスル、トランシーバー、風速計、ジェットシューター等の安全装備品を整備するとともに、「野焼き・輪地切りマニュアル」の作成や安全講習会を開催し、ボランティア活動の安全対策を強化。

また、新しい公共支援事業（県）により、ヒヤリハット集の制作や企業 CSR 活動の促進事業も進めました。

①野焼きボランティア緊急安全対策強化補助金（県 補助金：4,700,000 円）

動力噴霧器一式、難燃性活動服 140 着、難燃性ヘルメット 80 個、ジェットシューター 36 台他を整備

②野焼き・輪地切り作業等安全対策緊急支援事業（阿蘇市 補助金：5,000,000 円）

ホイッスル 600 個、難燃性ヘルメット 460 個、風速計 16 個、トランシーバー 24 セット、野焼き・輪地切り作業マニュアル（阿蘇市 20 か所）、安全管理マニュアル研修会他

③野焼き継続に向けた安全対策強化及び草原担い手のすそ野拡大事業委託業務

（県 新しい公共支援事業 1,580,000 円）

ヒヤリハット集 500 部の制作、野焼き・輪地切り作業マニュアルの制作（20 か所）

【森づくり活動】

下記の 5 社と協力し、森づくり活動（植林地の下草刈り）に取り組みました。

①南九州コカ・コーラ	(H24. 10. 6)	阿蘇市	参加者 53 名
②富士通	(H24. 10. 20)	西原村	参加者 131 名
③オーキュウー	(H24. 11. 4)	西原村	参加者 42 名
④白鷺電気	(H24. 3. 9)	西原村	参加者 100 名
⑤肥後銀行	(H24. 7. 20、7. 21)	西原村	参加者 46 名

【普及啓発活動】

- ①「草原だより」の発行（年 4 回：52 号～55 号）
- ②財団のパンフレットのリニューアル
公益財団法人移行に対応したパンフレットを制作（4,000 部）
- ③ホームページの随時更新
- ④研修の受け入れ（ブラジル、久留米大学、東京農業大学など）

※ 公1の事業収支に関しては以下の通りです。

科目	金額	備考
活動会員受取会費	1,428,600	野焼きボランティア会費
事業収益	6,355,868	初心者研修、機関誌購読、県立大、 下草刈り、新しい公共支援事業
受取国庫助成金	788,120	造林助成金
受取地方公共団体助成金	1,507,300	都市農村交流支援助成金
受取地方公共団体補助金	9,700,000	安全対策県470万、阿蘇市500万
受取民間助成金	4,756,560	阿蘇草原再生募金助成金(350万、 100万、25万)
受取寄付金	1,263,925	
雑収益	1,060,163	花咲盛鹿ネット25万円、クオカード 60万円、難燃服20万円
収入合計	26,860,546	

人件費計	8,537,735	
物件費計	23,346,411	
支出合計	31,884,146	

(収入) 26,860,546円 - (支出) 31,884,146円 = △5,023,600円

※ 参考

(豪雨災害への対応)

- ・7月の九州北部豪雨に関して、ブログにてボランティアの呼びかけをしました。また職員もボランティアに参加する等緊急に協力体制をとり、一方で義援金の協力を呼び掛けたところ372,554円の寄付があり財団支援10牧野(放牧場の水飲み施設に被害があった牧野)へお見舞金を渡しました。

(野焼き事故について)

- ・野焼き事故のその後の様子について、昨年4月の事故発生以降6月初旬までは、葬儀や四十九日等への対応と共に安全対策委員会での事故原因の究明や警察及び報道関係者への対応等に追われてきました。万が一、起訴となり裁判とかになるようであれば、財団としての対応について、評議員会・理事会等での検討が必要になると思われます。

(あそ千年祭への協力)

- ・熊本県の企画「あそ千年祭」(高森町で開催)にボランティア派遣など財団として積極的に協力をしました。

(阿蘇草原再生千年委員会等の動向)

- ・千年委員会及び草原再生協議会で取り組まれてきていた「阿蘇草原再生募金」も、目

標額の1億円には届きませんでした。7,000万円を超え、来年度からも継続して第二期募金に取り組んでいくことになってきています。千年委員会でも、これまでの議論をまとめ千年委員会提言を採択し、今後も継続していくことが確認されました。

- また、千年委員会及び草原再生協議会等でのこうした動きの中で、熊本県や地元市町村に於いても「あそ草原再生ビジョン」及び「千年の草原を活用し阿蘇地域活性化総合戦略」が策定されました。
- 安全講習会やボランティア精神の再確認などにより、ボランティア活動の内容も一層充実してきており、千年委員会や県及び経済団体の取り組みなどもあり、阿蘇の草原保全へ向けた動きが新しい段階に入ってきたと言えます。

2 自然体験・農業体験学習事業（公2）

昨年に続き、阿蘇市、南小国、南阿蘇村の約150軒の受け入れ農家の方々と共に、下記23校2,744名の中学・高校生の修学旅行受け入れ体験事業に取り組んできました。

今年度より新たに高森町での受け入れ体制が整いつつあります。

	実施日	都道府県	学校名	人数	形態
1	4月13日	香川県	香川大学教育学部付属坂出中学校	118	民泊＋ 農業体験
2	4月16日	神奈川県	クラーク国際高等学校横浜キャンパス	123	生活体験＋民泊
3	4月20日	香川県	多度津町立多度津中学校	204	民泊＋ 生活体験
4	4月20日	香川県	綾川町立綾南中学校	55	体験のみ
5	4月23日	岡山県	倉敷市立下津井中学校	52	民泊＋生活体験
6	4月24日	香川県	坂出市立東部中学校	90	民泊＋ 生活体験
7	4月24日	東京	クラーク国際高等学校所沢キャンパス	24	生活体験＋民泊
8	4月25日	香川県	丸亀市立東中学校	231	民泊＋ 生活体験
9	4月25日	香川県	まんのう町立琴南中学校	15	民泊＋ 生活体験
10	4月26日	香川県	坂出市立坂出中学校	119	生活体験＋民泊
11	4月26日	香川県	坂出市立白峰中学校	169	民泊＋ 生活体験
12	5月9日	香川県	丸亀市立南中学校	315	民泊＋ 生活体験
13	5月15日	大阪	大阪市立佃中学校	153	民泊＋ 生活体験
14	5月17日	神奈川県	関東学院六浦高校	46	田植え体験＋民泊
16	5月31日	兵庫県	神戸市立東落合中学校	144	民泊＋生活体験＋昼食
17	6月1日	滋賀県	大津市立瀬田北中学校	113	体験のみ
18	6月3日	兵庫県	神戸市立長峰中学校	163	生活体験＋民泊
19	6月9日	兵庫県	明石市立魚住中学校	280	民泊＋ 生活体験
22	9月13日	長崎	佐世保市立天神小学校	55	農業体験＋民泊
23	9月27日	大阪	大阪市立柴島高校	275	生活体験＋民泊
合 計				2744	

一般の体験事業は下記の通りです。

実施日	都道府県	団体名	人数	形態
5月20日	熊本県	熊本県保険医協会	32	体験のみ
6月15日	韓国	韓国ファームステイ	13	民泊のみ
8月22日	福岡	三角商事株式会社	25	体験のみ
合 計			70	

公2の事業収支に関しては以下の通りです。

科目	金額	備考
村民受取会費	180,000	村民会費
ゆたっと体験事業収益	533,431	竹箸づくり、コマうち体験他
ファームステイ体験事業 収益	7,836,211	小中高民泊・体験受け入れ
雑収益	397,145	保険給付金他
収入合計	8,946,787	

人件費計	6,260,229	
物件費計	3,394,247	
支出合計	9,654,476	

(収入) 8,946,787 円 - (支出) 9,654,476 円 = △707,689 円

3 調査・研究事業(公3)

以下の2つの調査事業に取り組んできました。

- (1) 北外輪地区湿地に於ける生物多様性保全実証事業
(環境省からの委託事業 2,228,345 円)
 - イ. 草刈と苧草の運び出しによる希少植物の保全実証試験
 - ロ. 盗掘防止研修会の開催他
- (2) 北外輪地区湿地帯の生物多様性保全基本計画(草原博物館計画)の策定事業
(阿蘇市環境共生基金からの委託事業 2,885,000 円)

公3の事業収支としては下記の通りとなりました。

科目	金額	備考
事業収益	5,206,945	アンケート調査事業 93,600 円
収入合計	5,206,945	

人件費計	1,789,832	
物件費計	2,652,277	
支出合計	4,442,109	

(収入) 5,206,945 円 - (支出) 4,442,109 円 = 764,836 円

4 あか牛オーナーへのあか牛肉販売事業(収1)

① あか牛オーナー登録

(一般オーナー)

平成23年度末オーナー数	42名	(あか牛 44頭)
平成24年度新規オーナー数	6名	(あか牛 5頭)
契約満了	7名	(あか牛 7頭)
平成24年度末オーナー数	41名	(あか牛 42頭)

(肥後銀行団体オーナー) 平成23年契約後変動なし

平成24年度末オーナー数	196名	(あか牛 42頭)
--------------	------	-----------

受入牧野のエリアに関しては、南阿蘇畜産農業協同組合の協力もあり阿蘇市、南阿蘇村、高森町に及んでいます。

② あか牛肉販売

あか牛オーナー(30万円)に対する特典として、年間6万円分のあか牛肉を5年間提供するもの。特典とは別に追加購入されるオーナーも増えていますが、あか牛肉価格上昇に対し販売価格を据え置いているため、収支は以下の通りとなりました。

オーナー年間利用額

肥後銀行 196名の利用合計額	2,520,000 円
一般オーナー48名の利用合計額	3,032,470 円

科目	金額	備考
活動会員受取会費	99,000	
事業収益	5,552,470	
雑収益	17,600	交流会参加費
収入合計	5,669,070	

人件費計	594,340	
物件費計	5,608,731	
支出合計	6,203,071	

(収入) 5,669,070 円 - (支出) 6,203,071 円 = △534,001 円

5 食事提供及び農産物の販売等事業（収2）

- ① ゆたっと村での宿泊、食事サービス
- | | |
|------------|-----------|
| 宿泊、施設利用 | 283,100 円 |
| バーベキュー等の提供 | 224,600 円 |
- ② 農産物販売事業
- | | |
|----------------------|-----------|
| 農産物販売（ブルーベリー、栗、しいたけ） | 569,316 円 |
| もち販売等 | 224,150 円 |

ブルーベリーや栗、グリーンコープ店舗でのもちつき実演販売など農産物販売事業は検討したものの、豪雨災害の影響でゆたっと村の利用が低調だったため、事業収支は次の通りとなりました。

科目	金額	備考
事業収益	1,301,166	
収入合計	1,301,166	

人件費計	572,047	
物件費計	747,985	
支出合計	1,320,032	

(収入) 1,301,166 円 - (支出) 1,320,032 円 = △18,866 円

6 受託調査事業（収3）

H24年度は下記の3つの受託調査事業に取り組んできました。

- (1) 野焼き現況写真撮影事業(世界文化遺産推進室 915,600円)

昨年春の野焼きの現況写真40ヶ所の撮影を行い、報告書をまとめました。

- (2) 阿蘇草原再生野草地環境保全計画調査事業（環境省 5,722,500円）

今年度は8月の入札で財団が受託し、立山牧野（阿蘇市）、1区牧野（阿蘇市）、下一牧野（南阿蘇村）の3ヶ所の牧野組合の野草地環境保全計画調査事業に取り組んできました。

- (3) 阿蘇市緊急雇用事業受託（7,009,800円）

草原特区申請に向けた牧野内の保安林の分布状況と面積等の把握調査

事業収支としては下記の通りとなりました。

科目	金額	備考
事業収益	13,652,600	牧野地図販売他 4,700円
収入合計	13,652,600	

人件費計	7,680,573	
物件費計	4,574,751	
支出合計	12,255,324	

(収入) 13,652,600円 - (支出) 12,255,324円 = 1,397,276円

二. 2012年度収支決算報告

別添決算報告書を参照に全体としては、当初公1事業に募金事務局助成金400万円の収入を計上していましたが、公益目的事業に該当しないこととなり、決算上△3,780,812円となっています。

又、野焼き事故の補償交渉に伴う弁護士費用が別に経常外費用として761,000円を計上することになり、当期一般正味財産増減額としては△4,541,812円となっています。